

Miss Miyako Island



第47代ミス宮古島誕生 ～新たな宮古島のPR～



8月1日、未来創造センターでミス宮古島発表会が行われ、第46代ミス宮古島から第47代ミス宮古島へとたすきが引き継がれました。
新しくミス宮古島となったのは、久貝真里奈さん（ミスサンゴ）、伊川実里さん（ミスティダ）、砂川愛莉紗さん（ミスブーゲンビレア）の3名。今年のミス宮古島の発表会は宮古島夏まつりの延期により、関係者のみで行われましたが、第47代ミ

ス宮古島によるスピーチでは、それぞれの想いのこもったスピーチに会場からは温かい拍手が送られました。また、異例の2年間ミス宮古島としての役目を果たした第46代ミス宮古島の活動を紹介する映像が流れ、どんときも前向きな笑顔で宮古島のPRに励んでくれた3名に感謝状が贈られました。

第46代から第47代へ受け継がれる想い

昨年、観光業界を襲ったのが、新型コロナウイルス感染症の全国的な広がりです。イベントの中止や渡航の自粛など、第46代ミス宮古島はこれまでのようなPR活動の場が失われ、思うような活動が難しくなっていました。しかし、その中でも自分たちができることを模索し、SNSでの情報発信やテレビへの出演、動画配信など、さまざまな方法で宮古島の魅力を発信し続けました。

第47代の3名は、自主性、積極性があり、この困難な状況の中でも前向きに挑戦してくれるミス宮古島になってくれるのではないかと選出されました。
本誌インタビューの際にも、誌面に全て書ききれないほど宮古島への想いや挑戦したいことを沢山話してくださり、宮古島への愛と情熱、そして宮古島のために活動したいという想いが溢れていることが伝わってきました。
宮古島の魅力発信のため、第47代ミス宮古島の挑戦がはじまります。

-Profile-



Miss Sun ミスティダ 伊川実里さん

- 出身：平良
- 趣味・特技：クラリネット、観葉植物を育てること
- 癒やしのひととき：愛犬と過ごす時間

○宮古島での思い出
私は同世代の親戚が多く、休日はよく親戚みんなで集まって、公園やプールに行ったり、自転車に乗ったり、近所でかくれんぼや鬼ごっこをしたりして遊んでいました。そして祖父母がアイスクーキー（宮古で昔から親しまれている割り箸に刺さったアイス）を作っていたので、遊んだ後はみんなでアイスクーキーを食べていました。今でもアイスクーキーを食べると幼少期の楽しかった思い出が蘇ります。



Miss Bougainvillea ミスブーゲンビレア 砂川愛莉紗さん

- 出身：平良
- 趣味・特技：美容
- 癒やしのひととき：アロマを焚いて、寝る前にストレッチすること

○宮古島での思い出
小さいころは、よくおばあちゃんの家遊びに行っていました。一緒に遊んだり、おばあちゃん手作りのパンピンをよく食べました。小・中学校とバスケット部に所属し毎日練習三昧で、練習後にみんなで食べたシャーベットは青春の味です。高校でダンスに出会い、宮古島夏まつりやダンケフェスト、まていライブなど様々なイベントに参加させてもらい充実した毎日を過ごしました。ダンスを通して出会った先生や友達などの繋がりは、私の宝物です。

